

No.22 ハンドボール



日本ハンドボール協会公式記録用紙

No. 1

(16名用)

スローオフチーム 福岡県

A	茨城県	福岡県	B
合計	22	15	合計

大会名	平成27年度 第70回国民体育大会ハンドボール競技		
開催日	平成27年 9月 30日 (水)	場所	和歌山ビッグホエール
種別	少年	男・女	第 3 回戦 準決 決 リーグ

A 飯田 健一 7m TC 村山 功太 B

A	茨城県	警告	退場	失格	チームタイムアウト				
					前半	後半	合計		
役員A	飯田 健一				29	24	24	09	
役員B	横山 明彦								
役員C	飯村 裕志				得点				
役員D	小沼 嘉樹				前半	後半	合計		
1	竹谷 美樹								
2	吉田 萌絵								
3	山口 楓								
4	官本 うみ								
5	杉本 叶						F	3	
6	渡辺 直葉						IF	5	
7	相澤 菜月						IF	8	
8	田沼 美津希								
9	芥藤 詩織							1	
10	小林 可奈							IF	5
11	滝川 莉奈								
12	宝田 希緒								
合計					3	4	0	10 12 22	

前半				後半			
A	前半	B	A	後半	B	結果	背番
10	11	0	32	10	11	0	32
6	1	2	24	7	2	0	59
6	2	6	26	10	12	1	29
7	W	7	55	11	W	3	00
7	3	9	37	7	13	4	15
7		10	47	3	S	4	40
7	4	11	14	6		6	38
7	5	12	09	6	14	7	21
8	W	13	58	8		8	48
9	S	17	25	10	15	10	20
6	S	19	15	5	16	13	45
9		20	15	6		14	23
6	7	21	40	10	17	14	45
10	8	23	04	5	18	15	36
7	9	24	27	7	19	18	03
6	10	28	29			20	06
		29	44			20	49
						24	09
						25	56
						26	13
						27	41
						27	50
						22	34
10				6			
22				15			

タイムキーパー 五藤 咲多 審判員1 山下 晴彦 TD1 馬場 保太郎

スコアラー 下林 陸志 審判員2 木下 夢人 TD2 矢本 康成

特記事項

① (主催者用) 日本ハンドボール協会版-不許複製

ハンドボール NO.21

第70回国民体育大会 紀の国わかやま国体 ハンドボール競技会 戦評報告書

競技日	平成27年 9月30日	試合番号	A-1
種別・回戦	少年女子 準々決勝	会場	ビッグホエール (A)

いばらきけん 茨城県			ふくおかけん 福岡県			得点チェック欄	
22	10	前半	6	15	前半	<input type="checkbox"/>	
	12	後半	9		後半	<input type="checkbox"/>	
		第1延長 前半			第1延長	<input type="checkbox"/>	
		第1延長 後半			第2延長	<input type="checkbox"/>	
		第2延長 前半			7mTC	<input type="checkbox"/>	
		第2延長 後半			合計点	<input type="checkbox"/>	
		7mTC			記録主任確認	<input type="checkbox"/>	

戦評	戦評委員氏名	仲井・清瀧
<p>福岡県が開始1分4番安田の速攻で先制。茨城6番渡辺のミドルで応酬。福岡が2-4ディフェンスから速攻をしかけるが、茨城のディフェンスも堅く10分を過ぎて3対3の同点。茨城7番相澤のカットイン、3番山口のミドルで連取し5対3とするも、お互いにキーパーを中心に守りきり、主導権を渡さない展開となった。茨城が退場者を17分、19分と出してしまい福岡が7mスローで5対5の同点に追いついた。その後も福岡は高いディフェンスをするが茨城がセットプレイで3連取、9対6となった。27分に福岡がタイムアウトをとり流れを変えようとしたが、茨城6番渡辺のサイドシュートが決まり、茨城10対6で前半を折り返した。</p> <p>後半開始、福岡が高い1-2-3で攻撃的なディフェンスで仕掛け4番安田が2点を取るも、茨城10番小林が2点を取り返す。茨城に退場者が出るが一進一退の状況は変わらず、後半8分まで4点差のまま推移した。福岡11番今村の速攻が決まり10分に14対11の3点差になった。後半中盤も福岡の速攻、茨城のセットプレイでお互いに譲らない展開が続いた。17分過ぎから茨城5番杉本のサイドシュートなどで福岡の高いディフェンスを崩し始め、19対13の6点差で20分に福岡がタイムアウトを取った。福岡が7mスローのチャンスを得るが、茨城12番ゴールキーパーの宝田に阻まれ、流れを引き寄せることが出来ない。逆に茨城は24分にタイムアウトを取り流れを引き寄せようとした。福岡が残り2分オールコートマンツーマンで点差を詰めようとするが、最終22対15で茨城が勝利した。</p>		

送信担当記録委員	湯田 裕美
----------	-------

